

# 知っていますか？ 楽譜ができるまで

## 楽譜は時代を超えた 音楽メディアです。

人の言葉を聞くと、あなたは何を感じるでしょうか？ その言葉の内容を単純に情報として受け容れるだけでしょうか？ 言葉の調子、微妙な間合い、様々なものを一緒に、そしてあなたの内にあるものと重ね合わせて感じ取るはずですよ。

楽譜は音楽の言葉です。そこには記号としての情報ばかりでなく、あらゆるニュアンスが込められているのです。楽譜を開いたときにあなたが感じるもの、それはまさに音楽を作った人と対話をして感じたことなのです。

楽譜は時代を超えた音楽メディアです。そのニュアンスを正しく伝え、現代のみならず未来の人にも同じように対話を楽しんでもらうために、私たちは楽譜を作っています。そこには制作に携わる私たちの多様なアイデア、思想も盛り込まれています。音楽作品に著作権があるのと同様に、楽譜にも著作権＝版面権があるというのが、私たちの主張です。

僕が初めて自作の出版というものを経験したのは20代はじめ、大学生のころ。あるコンクールで1位になった室内楽曲だ。出版のために「浄書」がなされ、その校正が必要、ということすら、知らなかった。出版社で一室を与えられ、校正をしたのを覚えている。校正というものにいったいどのくらいの時間をかけるものかも分からない。「まだやっけていいですか」と、担当者に時々お伺いをたてながら、しかし焦ってやった。刷り上がった瞬間、間違いがたぐさなかったが、自分の書いた音符たちが美しい印刷譜になっている…。嬉しくて小躍りしたものだ。

以来僕は、楽譜の制作に携わる方に畏敬の念を抱きつづけている。校正は依然苦手だが、たっぷり時間をかける。まさにエキスパートの仕事である楽譜の出版がどんなに大変なものか、しかしその苦勞の結果がどんなにすばらしいか、熟知しているからだ。浄書から出版に至るシステムは時代とともに変化してきたが、精神は同じだ。

センスに欠けた雑な楽譜から、音楽は聴こえてこない。単なる記号にすぎない楽譜なのに、それはそこから音楽を生み出す、たとえようもなく輝かしいものなのだ。

だから、楽譜を愛することはすなわち音楽を愛することなのだ、僕は確信している。



作曲家 池辺晋一郎



『サカラメンタ提要』1605年出版  
(我が国最古の西洋音楽の印刷楽譜)

### 日本楽譜出版協会

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-21 楽器会館 4F  
Tel & Fax 03-3257-8797  
ホームページ <http://www.j-gakufu.com/>  
メールアドレス ofc@j-gakufu.com

### 日本楽譜出版協会